



自立して社会に貢献できる生徒の育成

南中だより



福山市立駅家南中学校

2025年(令和7年)

6月26日(木) NO.3

「みんなで決めて、守る！」生徒総会を行いました！



6月17日(火)、生徒総会が行われました。これに先立って開かれた生徒集会では、昨年度から取り組んでいる「南中の八つの校風」の復活に向けて、ルールについての意見交流を行い、「服装・髪型の乱れた生徒のいない学校」を目指すための課題について話し合いました。

昨年度の生徒総会では「茶髪の禁止」が決議され、生徒全員でそのルールを守ってきました。今年は「服装」に焦点を当て、その中でも特に男子のシャツの着方と女子のスカート丈が課題として取り上げられました。

「シャツは入れる」「スカートの丈は膝丈とする」といった内容を生徒指導規程に盛り込むかどうかについて、各学級で話し合いを行い、その結果、ほぼ全クラスの賛同多数で、これらの項目を生徒指導規程の遵守事項に加えることが確認されました。

次の日から、朝のあいさつ運動の際、3年生の生徒と生徒会執行部が、みんなで決めたことを守るよう声かけを行っています。その成果もあって、今までシャツを出していた男子生徒やスカートを短くしていた女子生徒の多くが、身だしなみを整えることを意識して生活するようになっています。

生徒総会や学級での話し合いを通してルールについて真剣に考え、意見を出し合い、合意を形成していくみなさんの姿を見て、私はとても頼もしく感じました。こうした経験は、これから社会の中で生きていくうえで大切な「課題を話し合い、みんなで解決していく力」を育むものです。

私たちは、ルールや規則、法律に従うことを学びながら成長していきます。ルールを守ることとはもちろん大切です。しかし、誰かに言われたから守るのではなく、相手の気持ちを思いやり、次に使う人のことを考えて行動したりと、人としてよりよく生きることを大切にしたいと願っています。「どうすれば、みんなが気持ちよく過ごせるか」「自分はどんな行動で社会に貢献できるか」といった視点を持てる人になってください。

一方で、髪型や服装に乱れが見られる生徒の多くは、今、学校生活を思うように頑張れていない状況にあるのかもしれません。勉強が苦手な自信をなくしている、家庭でつらいことがあって元気がでない――その背景には、一人ひとり異なる理由があるはずです。服装を整えることは、ただ外見を整えるということではなく、自分の中にあるそうした要因と向き合い、乗り越えようとする姿勢のあらわれでもあると思います。

私たち教職員は、そうした生徒たちに寄り添い、支えたいと思っています。もし服装のことで注意をされたときは、それをきっかけに、今抱えている思いや困っていることを、ぜひ私たちに相談してください。そこから本当の意味での解決が始まります。それこそが何よりも大切なことだと私は思っています。

地区総体でみんな大健闘！卓球部は優勝おめでとう！



地区総体において、卓球部が見事優勝を果たしました。昨年度の新人戦では惜しくも準優勝という結果に終わりましたが、「次こそは」と心に誓い、冬の間も地道な練習を重ねてきました。

当日の朝、出発する際には「優勝してきます！」と力強く宣言し、その言葉通り、優勝旗を手に戻ってきた姿に大きな拍手を送りたいと思います。有言実行、本当に立派です。県大会でも、自分たちの力を信じて頑張ってください。

その他の部活動も、それぞれの持ち味を発揮しながら、最後まで粘り強くプレーする姿が多く見られました。思うような結果が得られなかった部もありましたが、一人ひとりがこれまでの努力を出し切り、仲間と励まし合いながら全力で挑む姿に大きな成長を感じました。

勝敗だけでなく、その過程で学んだこと、流した汗や悔しさは、きっとこれからの大きな力になるはずです。みなさんの今後のさらなる飛躍に期待しています。

今回の卓球部の優勝には、練習の成果だけでなく、もうひとつ大きな要因があったように思います。それは、卓球部の練習環境——卓球場が見違えるほど整い、美しくなったことです。

かつての卓球場は、掃除が行き届かず、ピン球が床に転がったままだったり、窓の戸締りができていなかったりと、どこか気のゆるみを感じられる場所でした。今は違います。ピン球ひとつ落ちていない、整った練習場。用具もきちんと整備され、窓もきちんと閉められ、誰が見ても「この場所は大切にされている」と感じられる空間になっています。

強くなったから掃除ができるようになったのか、掃除をするようになったから強くなったのか、それは分かりません。確かなのは、卓球部の成長の背景に、「場を整えることを大切にする心」が育っていたということです。

日々の練習はもちろん、目には見えないそうした積み重ねが、今回の「優勝」という形になって表れたのではないのでしょうか。環境を整え、自分たちの場所に責任を持つこと、それは、部活動だけでなく、学校全体、人生においても大切にすべきことです。

「マナー講座」であいさつやマナーについて学びました！

6月23日、カンコー学生服の方をゲストティーチャーに迎え、マナー講座を実施しました。

講演では、「人は見た目の印象で中身を判断しがち」という話があり、チャレンジ・ウィークに参加する2年生や、高校のオープンスクールに行く3年生に向けて、誤解を招かないよう正しい制服の着こなしを意識することが大切であると語られました。また、会釈・敬礼・最敬礼など、場面に応じたあいさつの仕方についても学び、マナーの基本をしっかりと確認する機会となりました。ちょうど先日の生徒総会で服装について話し合ったこともあり、生徒たちは真剣な表情で講師の話に耳を傾けていました。講演後には、「3年連続でお話していますが、今年が一番生徒の態度が良かったです。受け答えや反応も素晴らしく、学校がどんどん良くなっていますね」とお褒めの言葉をいただきました。お互いが気持ちよく過ごすためのマナーを改めて学ぶ、貴重な時間となりました。

